

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

1. 公開シンポジウム「我が国が誇る循環産業の海外展開プラットフォーム」開催について
【環境省 平成28年12月22日】
2. 産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成26年度実績）について
【環境省 平成28年12月22日】

■RPPC事務局からのお知らせ

1. IMSBCコード第3次改正に伴う特殊貨物船舶運送規則等及び関係告示等の改正並びに関係通達について
【国土交通省海事局】
2. NPO法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ12月号のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 29年度の港湾局関係予算は2468億5700円
2. 徳山下松港バルク戦略港湾、基本設計や施工法検討等
3. 破碎瓦の港湾工事利活用、中部地整が適用性評価手法検討

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 公開シンポジウム「我が国が誇る循環産業の海外展開プラットフォーム」開催について

詳細は下記をご覧ください

<http://www.env.go.jp/press/103396.html>

【環境省 平成28年12月22日】

2. 産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成26年度実績）について

詳細は下記をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/103381.html>

【環境省 平成28年12月22日】

=====

◇RPPC事務局からのお知らせ

1. IMSBCコード第3次改正に伴う特殊貨物船舶運送規則等及び関係告示等の改正並びに関係通達について

国土交通省海事局より、情報提供がございましたので、以下共有致します。

今般、国際海上固体ばら積み貨物規則（IMSBCコード）の3次改正が平成29年1月1日より発効することに伴い、固体ばら積み貨物の海上輸送にかかる特殊貨物船舶運送規則等省令及び関係告示を改正しました。（省令及び告示の名前は以下のとおりです）

- ・「特殊貨物船舶運送規則及び危険物船舶運送及び貯蔵規則の一部を改正する省令」（平成28年12月27日国土交通省令第85号）

- ・「液状化物質及び船舶による液状化物質の積載の方法を定める告示等の一部を改正する告示」
(平成28年12月27日国土交通省告示第1443号)

上記の省令及び告示の内容を反映させた最新版の特殊貨物船舶運送規則、液状化物質及び船舶による液状化物質の積載の方法を定める告示、固体化学物質及び船舶による固体化学物質の積載の方法を定める告示、その他の固体ばら積み物質及び船舶によるその他の固体ばら積み物質の積載の方法を定める告示は、弊省関連HP (http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr8_000007.html) に後日掲載いたします。

また、上記の省令に規定している申請などの事務手続き等の詳細を定めた通達国海査第452号(平成22年12月1日付)を別添のとおり改正しましたので、あわせてご案内いたします。

2. NPO法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ12月号のお知らせ

NPO法人庄内リサイクル産業情報センターより、メルマガ12月号が届きました。添付ファイルをご覧ください。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 29年度の港湾局関係予算は2468億5700円

政府が12月22日に閣議決定した平成29年度予算案で、港湾局関係予算は2468億5700円(国費、前年度比1.0015倍)と前年度から約3億円の微増となった。また新規制度として「国際クルーズ旅客受入機能高度化事業」、「港湾における農水産物輸出促進基盤整備事業」、の2件。

港湾関係公共事業予算額の合計は約2431億円で、このうち港湾整備事業2321億円、港湾海岸事業98億円。また非公共事業は約38億円で、内訳は国際戦略港湾競争力強化対策事業等に約19億円、国際クルーズ旅客受入機能高度化事業(新規)に約10億円等となっている。

施策別では国際コンテナ戦略港湾政策関連として766億円(非公共約19億円含む)を計上したほか、バルク戦略港湾関係は約74億円、クルーズ船関連は約137億円(非公共約10億円含む)となっている。

【港湾空港タイムス】

2. 徳山下松港バルク戦略港湾、基本設計や施工法検討等

中国地方整備局は平成28年度の新規事業として認められている徳山下松港国際物流ターミナルの29年度工事着手に向け、諸検討を行っている。

宇部港湾・空港整備事務所がファーストポートとしてケープサイズの20万DWT石炭船を受け入れる下松地区と、セカンドポートとなる徳山地区晴海ふ頭の予定海域を対象とした土質調査を進めて来ているほか、同データを踏まえる形で現在、広島港湾空港技術調査事務所において今年度末の履行期限で両岸壁の基本設計に入っている。宇部港空港整備事務所では広島技調で進む岸壁基本設計業務の結果が出るのを待って、施工法調査も実施することにしており、29年夏には施工法をまとめるとともに、現地着手への準備も行う。

徳山下松港の国際バルク戦略港湾整備では、下松地区において棧橋式岸壁（水深19m）延長390mを新設するとともに、徳山地区において既設の水深14m岸壁280mを390mに延伸する。

【港湾空港タイムス】

3. 破碎瓦の港湾工事利活用、中部地整が適用性評価手法検討

中部地方整備局は12月13日、「破碎瓦の港湾工事への利活用検討委員会（座長：前田健一名古屋工業大学大学院教授）」の28年度第2回会合を開いた。追加的に必要となった港湾構造物への利活用に係る試験方法や各用途への適用性評価手法等について意見を聴いた。

当日の議事概要は、①追加試験の実施＝荷重載荷時の破碎瓦の計測土圧の挙動把握を目的として「模型載荷試験」を追加し、水平土圧に加え、鉛直土圧の計測を行う。

②各用途への適用性の評価＝材料特性を整理した結果、水中投入による海上施工用途に対しては、いくつかの留意事項への対応が必要となるが、十分に適用できる可能性がある、など。

【港湾空港タイムス】

2016年最後の配信でございます。
今年も当協議会活動にご協力賜り、誠にありがとうございました。
来年も何卒よろしくお願いたします。
なお2017年のメルマガは、1月11日（水）より配信予定でございます。
（事務局）

発行者：RPPC広報部会
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
木村 竜也 東京都
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター
新谷 聡 りんかい日産建設（株）
リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

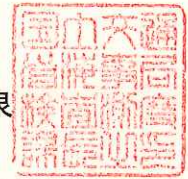
- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。



国海査第489号
平成28年12月27日

リサイクルポート推進協議会
会長 米田 徹 殿

国土交通省海事局検査測度課長
岩 本 泉



特殊貨物船舶運送規則に規定する事務手続き等の改正について
(国海査第452号(平成22年12月1日付け)の一部改正)

海上人命安全条約(SOLAS 条約)に基づく国際海上固体ばら積み貨物規則(IMSBCコード)の3次改正が、平成29年1月1日から発効します。これに伴い、特殊貨物船舶運送規則(特貨則)等省令及び関連告示を改正し公布したところですが(改正の概要は別紙1及び2を参照)、これに合わせ、同規則に規定する申請等の手続き等について定めた国海査第452号を別添のとおり改正したので、通知します。なお、改正の概要については別紙3を参照下さい。

1. 特貨則等省令の改正内容

- 乾燥粉状液状化物質を地方運輸局が認定した乾燥粉状液状化物質運搬船にばら積みして運送する場合には、第16条の2(荷送人による船長への資料の提出)、第16条の3(荷送人による水分管理)、第17条(登録検査機関等による水分値等の測定)、第23条(液状化物質の積付け要件)及び第25条(液状化物質の積付け検査)の規定は適用されません。【特貨則第27条の2第1項関係】
- 乾燥粉状液状化物質運搬船の認定を受けるには、船舶所有者が乾燥粉状液状化物質運搬船認定申請書等を地方運輸局に提出する必要があります。また、地方運輸局が当該認定を行ったときは、乾燥粉状液状化物質運搬船認定書を船舶所有者に交付します。【特貨則第27条の2第3項、第4項関係】
- 乾燥粉状液状化物質運搬船の認定を受けた船舶の船長は、乾燥粉状液状化物質をばら積みして運送する場合には、乾燥粉状液状化物質運搬船認定書等を船内に保管する必要があります。【特貨則第27条の2第9項関係】

※乾燥粉状液状化物質…乾燥させて水分を除去した粉末状の液状化物質

※乾燥粉状液状化物質運搬船…地方運輸局等が乾燥粉状液状化物質の乾燥状態を維持するために必要な積付設備及び船倉を有していると認定した船舶

2. 関係告示の改正内容

クリンカアッシュ(石炭灰の一種)等の運送にかかる要件の改正の他、新たに鉄鋼スラグ等18種類の物質の運送にかかる要件の追加が行われました。

<改正法令>

- 液状化物質及び船舶による液状化物質の積載の方法を定める告示(平成22年国土交通省告示第1526号)
- 固体化学物質及び船舶による固体化学物質の積載の方法を定める告示(平成5年運輸省告示第757号)
- その他の固体ばら積み物質及び船舶によるその他の固体ばら積み物質の積載の方法を定める告示(平成22年国土交通省告示第1529号)

3. 国海査第452号の改正内容の概要

- 水分管理手順書の承認手続き等について(p.4)

荷送人が試料採取・水分測定に関する手順書の地方運輸局の承認を受ける際に、地方運輸局への提出資料に添付する試料採取者及び水分測定者に対する教育・訓練の記録を登録検査機関が実施する研修の受講記録に替える場合、当該受講記録の有効期間を1年に延長します。また、当該手順書の更新時は、試料採取者及び水分測定者の業務実績が確認できる場合に限り、荷送人が受講する当該研修は座学研修のみでも良いこととします。

- 液状化物質の試料採取・水分測定について(p.6、p.47)

特貨則第17条第9項及び船舶検査心得に規定される標準的な方法・規格による液状化物質の試料採取を実施するのが難しい場合は、代替方法を地方運輸局等にご相談下さい。

- 乾燥粉状液状化物質運搬船について(p.9～10)

今次特貨則改正にて新設された第27条の2(乾燥粉状液状化物質運搬船)について、乾燥粉状液状化物質運搬船の地方運輸局の認定要件(同条第1項)や船舶所有者が地方運輸局に提出する書類(同条第3項)の仔細を規定します。

PORTTOWN MAGAZINE

<2016年12月号>

2016年12月15日配

このたびの熊本県、大分県および、鳥取県を震源とする地震により
被害を受けられた皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月も日本海側リサイクルポート、
能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。
それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

//////// I N D E X //////////////////////////////////////

① 能代港ニュース

- ・～港湾利活用を語る～
シンポジウム「これからの能代港 II」を開催します。
- ・丸紅部長「洋上風力、前へ進める」 秋田、能代両港に計画。

② 酒田港ニュース

- ・酒田港の魅力、再発見。外国クルーズ船、来夏寄港 外国人との文化交流も～やまがた女みなとフォーラムの開催～
- ・平成28年度酒田港ポートセミナー開催のお知らせ。

③ 姫川港ニュース

- ・ジオパーク活用の取り組み視察。糸魚川で再認定審査。

④ 境港ニュース

- ・境港市の「水木ロード」 年間観光客200万人に 地震の風評被害などをはねのけ復活。

⑤ 編集後記

■ 能代港ニュース

○～港湾利活用を語る～

シンポジウム「これからの能代港Ⅱ」を開催します。

12月23日（金・祝）午後3時00分より、プラザ都（能代市柳町9-23）においてシンポジウム「これからの能代港Ⅱ」を開催します。

内陸後背地に国内有数のリサイクル拠点を抱える秋田県北部地域は、近く高速道のミッシングリンクが解消される公算が高まっており、能代港はその玄関口としての機能発揮に地域一丸となった取り組みが必要となっています。また、能代火力発電所3号機の着工、大規模洋上風力発電事業の動向等、エネルギー拠点としての期待も高まっており、地域の産業振興に果たす役割は大きなものがあります。

シンポジウムでは、能代港の特色を生かした利活用のあり方と港湾機能の強化について語り、港を通じた地域の産業振興を考える契機とします。

○丸紅部長「洋上風力、前へ進める」 秋田、能代両港に計画。

洋上風力発電の関連事業に参入を目指す秋田県内企業を対象としたセミナーが11月15日、秋田市の秋田ビューホテルで開かれました。秋田、能代両港の港湾区域内で洋上風力発電事業を計画している大手商社の丸紅国内電力プロジェクト部の幾島渉部長は講演で、予定地について「いい風況が期待できる。計画を前に進めたい」と述べました。

県内の産官学でつくる「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」の主催。会員企業の担当者ら約100人が参加しました。

■ 酒田港ニュース

○酒田港の魅力、再発見。外国クルーズ船、来夏寄港 外国人との文化交流も～やまがた女みなとフォーラムの開催～

山形県新庄市の最上広域交流センター「ゆめりあ」で11月21日、やまがた女みなとフォーラムが開催されました。参加者約100人は県内で唯一、外国につながっている酒田港の重要さの認識を深めました。

細谷知行副知事は、コンテナクレーンの増設など県が同港整備に力を注いだことが、コンテナ貨物の増加率が全国1位の成果に表れていると強調し、新庄市の山尾順紀市長は「平成の北前船ともいえる外国クルーズ船が来夏に来る。いよいよ酒田の出番だ」とエールを送っていただきました。

○平成28年度酒田港ポートセミナー開催のお知らせ。

平成29年1月16日(月)山形県新庄市 ニューグランドホテルにて「平成28年度酒田港ポートセミナー」が開催されます。酒田港は、山形県唯一の重要港湾であり、山形県と対岸諸国とを結ぶ国際物流拠点として重要な役割を担っており、平成15年4月のリサイクルポートの指定及び平成23年11月の日本海側拠点港(リサイクル貨物)の選定を受け、リサイクル関連の取扱貨物量の拡大に取り組んできており、対岸諸国向けのその量は、平成27年の中間目標値20万tに対し約21万tと上回っていますが、国内も含めたその量は減少傾向にあり、新たな貨物の創出及び既存貨物の拡大が課題となっています。また、コンテナ貨物量については、花王(株)の工場増設などにより、大幅に増加していますが、花王(株)以外の貨物増加に向け、県内陸企業の利用拡大が課題であると考えられます。

また、これまでの官民あがてのクルーズ船誘致の活動が実り、来年度に外航クルーズ船の初寄港が発表されるなど、クルーズ船寄港によるインバウンドの推進により観光関連のビジネスチャンスが訪れようとしております。そこで、「酒田港」のリサイクル関連貨物量の拡大や県内陸部及び近県の企業の皆様や観光関係者にもっと知って頂き、酒田港を積極的に利用してもらうために本セミナーを開催します。

日時：H29.1月16日(月) 15時00分～18時45分

場所：ニューグランドホテル(新庄市内) 新庄市若葉町4-23

主催：山形県

共催：酒田市、酒田リサイクルポート推進協議会、山形県港湾協会、酒田港湾振興会、「プロスーパーポートさかた」ポートセールス協議会、NPO法人庄内リサイクル産業情報センター

後援：国土交通省東北地方整備局、酒田商工会議所、(一社)東北経済連合会、(一社)山形県産業廃棄物協会、リサイクルポート推進協議会、山形県企業誘致促進協議会、(公財)山形県企業振興公社

■ 姫川港 ニュース

○ジオパーク活用の取り組み視察。糸魚川で再認定審査

2008年に糸魚川市を日本ジオパークに認定した日本ジオパーク委員会のメンバーらが11月15日、認定継続の可否を審査するため同市一ノ宮のフォッサマグナミュージアムなどを視察し、ジオパークを教育や観光にどう生かしているかといった取り組み状況を確認しました。

訪れたのは、日本ジオパーク委員会委員の中川和之・時事通信社解説委員ら審査員3人と日本ユネスコ国内委員会の事務局スタッフらで、再審査は原則4年ごとに行われ、フォッサマグナミュージアムでは館内視察のほか、地層や自然、歴史、文化などを楽しんだり学んだりできる「ジオサイト」の保全やガイドの態勢について担当者が説明。日本鉱物科学会が9月、糸魚川市を中心に産出されるヒスイを「日本の石」(国石)に選定したことについて、担当者が「ヒスイが無秩序に販売されないようにする

必要がある」とコメントしました。

■ 境港ニュース

○境港市の「水木ロード」 年間観光客200万人に 地震の風評被害などを はねのけ復活

妖怪ブロンズ像153体が並ぶ鳥取県境港市の水木しげるロードを今年訪れた観光客が200万人に達したことが、同市の調べで分かりました。鳥取県中部で10月21日に震度6弱を観測した地震の風評被害で観光客が落ち込む中で、2年ぶりに年間200万人以上の水準が復活しました。同ロードは平成22年に年間372万人を記録して以降、200万人以上をキープしていたが、去年は197万人に落ち込みました。

200万人に達したのは11月20日。大台に返り咲いた要因について、市通商観光課は「昨年11月に水木しげる先生が他界され、今年追悼のためにロードを訪れるファンが急増し夏休み期間も天候に恵まれた」などと分析しています。

■ 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

平成28年、今年も後残りわずかとなりました。この編集後記を書いている時に、日本漢字能力検定協会が行う「今年の漢字」が決まりました。今年の漢字は「金」。確かに今年にはリオデジャネイロ五輪での日本人選手団の活躍が目覚ましく、金メダルに湧く日本の様子を表しているそうです。ちなみに私個人の1文字は「驚」です。本当に今年からは1月から驚くような出来事が満載でしたね。毎日様々なニュースに一喜一憂していたような気がしてなりません。こうして、安心して年末を迎えられることに喜びを感じています。読者の皆さんにとっての今年の一文字はなんでしょうか？前向きで素敵な文字が浮かびますようお祈りしております。

平成28年もPORTTOWN MAGAZINEにお付き合いいただきありがとうございます。読者の皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

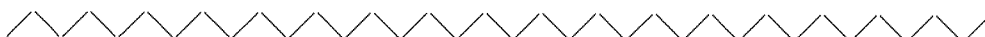
それでは、来年1月15日のPORTTOWN MAGAZINEをお楽しみに。

NPO法人庄内リサイクル産業情報センターFacebook ページはこちら！



<https://www.facebook.com/SHONAIRECYCLE/>

※他港の情報も掲載中です！！



PORTTOWN MAGAZINE

